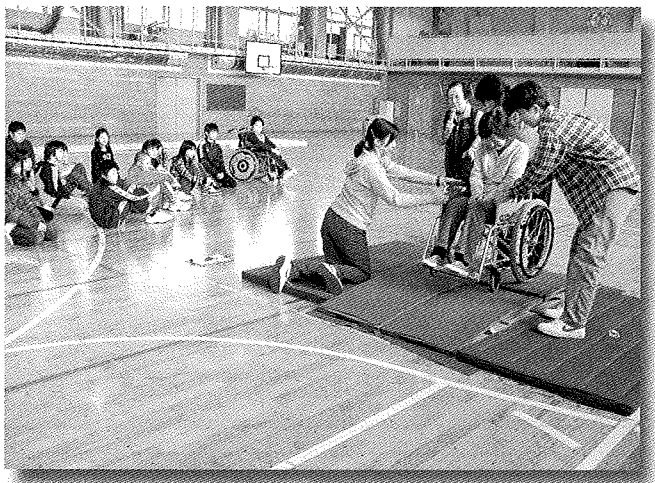


みんなで支えあうまちづくり

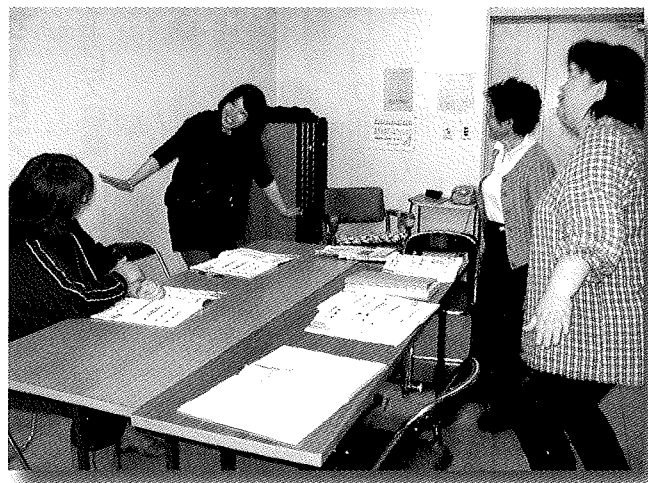
社協だより みかさ



本町にある老人健康農園で、児童館の子ども達が、畑を管理する老人クラブの皆さんと一緒にジャガイモを植えました。実りの時期には自分達でイモを掘って、とれたてを食べる予定です。収穫が楽しみです。



三笠小学校の生徒が『やさしさって なんだろう』をテーマに視覚、聴覚、身体の障がいについて学びました。各分野を3・4・5年生がそれぞれ学習するため、ボランティア団体に協力いただき、指導・講演しています。



今年も三笠手話の会の皆さんの協力により初級講座を行いました。全8回で自己紹介程度の手話をマスターしました。最初は戸惑いながらも、ジェスチャー表現から始まり、言葉を使わないで「伝える」ことの楽しさや難しさを感じ、新たな分野の発見があったようです。

本紙は赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

●	平成22年度事業報告	2
●	平成22年度決算	3
●	平成23年度事業計画	4
●	予算23年度予算	5
●	東日本大震災義援金について	6
●	社協ケアプラン相談センター	7
●	社協と住民会員とのつながり	8

平成23年
8月21日号

題字 小林市長

平成22年度事業報告

1 自立と社会参加活動の推進

▼ふれ愛チームによる声かけ、安否確認、訪問、見守り活動を行っております。

：4カ所(清住町内会、幌内初音町内会、柏町南町内会、高美町睦会各ふれ愛チーム)

▼ふれあいサロンは地域のお年寄りが集い、自主的に自由な仲間作りを行っております。

：10カ所(初音町団地、柏町南、本町地区、榊町公住、高美町睦、榊町中央、清住、弥生、榊、若松東親交会各ふれあいサロン)

▼高齢者が集い地域の連帯感を深め、交流を図る目的でふれあい昼食会を開催しております。

：21カ所(三笠支部「美和親交会」、三笠支部「幸町東区町内会」、三笠支部「多賀町西親交会」、三笠支部「若松町東親交会」、山の手支部「高美町睦会」、萱野支部、三笠支部「堤町親交会」、三笠支部「本町西町内会」、三笠支部「宮本町町内会」、幾春別支部「北栄町内会」、唐松支部「清住町内会」、山の手支部「しらかば町内会」、山の手支部、幾春別支部「宮下町内会」、三笠支部「若松町西親交会」、三笠支部「幸町北区町内会」、唐松支部「春光町町内会」、幾春別支部「幾春別町内会」、山の

手支部「榊町中央町内会」、弥生支部「花園町内会」、三笠支部「本郷町町内会」

▼在宅重度障がい者研修の実施(平成22年10月8日)

：仁木町、参加者23名
：ななかまど共同作業所
：通所者8名

2 在宅福祉サービスの拡充

▼ぬくもり除雪サービス事業(間口除雪登録)

：282世帯

▼居宅介護支援事業

□ケアプラン作成：387件

□介護予防プラン作成：72件

▼要介護認定更新調査：136件

▼生活福祉資金貸し付け(北海道社協実施)

▼たすけあい金庫：3,257,000円

3 地域福祉の拠点づくり

▼ボランティアアセンタを中心に活動の拠点の整備

：活動延べ人数456名

▼学童・生徒のボランティア活動

：三笠小学校、三笠中学校

▼ボランティア育成・研修(研修「車椅子介助、AED」札幌市民防災センター見学)

：ボランティアアスクール参加者24名

▼ボランティア除雪

：15世帯15回

▼手話教室

：初級2名

▼ふれあい健康センター喫茶ボランティア

：214日、延べ445名

▼からだに優しい料理教室

：2回、参加者延29名

▼福祉の店「ななかまど」

：6日間、来店者延185名

4 その他

▼赤い羽根共同募金運動：2,154,828円

▼歳末助け合い運動：1,711,068円

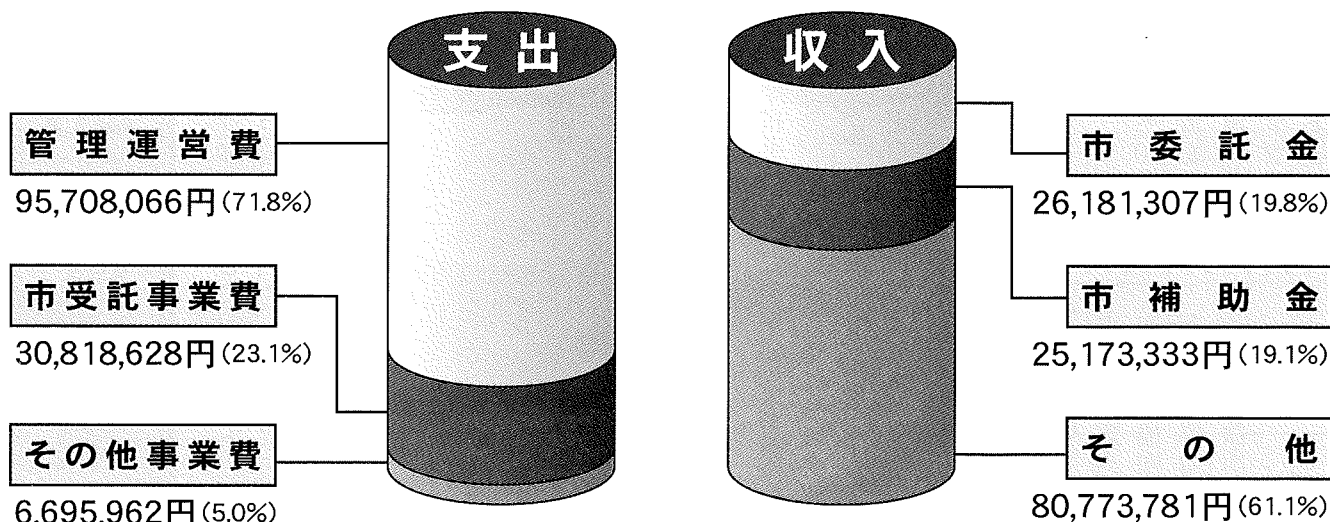
社協役員

社会福祉協議会役員の一部が変更されました。
新しい評議員は次のとおりです。

▶評議員(5月19日就任)

林 信之さん
(三笠市校長会)

平成22年度 社協一般会計決算 133,222,656円



平成22年度社協一般会計決算報告

支 出		収 入	
科 目	決算額	科 目	決算額
法人運営事業	95,708,066	会費収入	1,028,800
ぬくもり除雪サービス事業	11,349,434	寄付金収入	1,254,216
共同募金配分事業	1,711,791	経常経費補助金収入	25,490,433
ボランティアセンター事業	1,184,983	受託金収入	26,181,307
老人福祉センター運営事業	14,344,316	貸付事業等収入	3,510,500
障害者共同作業所運営事業	5,124,878	事業収入	982,622
助け合い金庫事業	3,347,568	共同募金配分金収入	1,811,791
地域活動事業ほか	451,620	負担金収入	31,000
		雑収入	554,597
		受取利息配当金収入	543,111
		経理区分間繰入金収入	494,790
		積立預金取崩収入	245,254
		長期貸付金回収収入	70,000,000
支出合計	133,222,656	収入合計	132,128,421

収入、支出で不足する1,094,235円については、活動収支資金より補てん

基金等残高

基本金	4,000,000	ボランティア基金積立金	2,986,926
社会福祉基金積立金	167,082,685	退職金引当金	11,832,521
国際障害者年基金積立基金	955,460		

平成22年度公益事業会計決算報告

支 出		収 入	
科 目	決算額	科 目	決算額
居宅介護支援事業	5,085,089	介護保険収入	5,069,480
		雑収入ほか	341
支出合計	5,085,089	収入合計	5,069,821

平成22年度共同募金会計決算報告

寄付金・配分金収入	7,052,687	(収入、支出同額)
事務費収入	504,667	(収入、支出同額)

平成23年度事業計画

3月11日に東北地方太平洋沖で発生した巨大地震により、東日本を中心として甚大な被害を生じたことから、当会においても、三笠市と協働により義援金の募集を行ってまいりました。本年度も引き続き災害支援を行ってまいります。また、次の事業を中心に地域福祉活動をより一層推進してまいります。

主 な 事 業

1、自立と社会参加活動の推進

- 社協支部活動費の交付
- 小地域ネットワーク活動の推進：ふれあいサロンモデル地区の指定・活動費助成
- ふれあいサロンへの支援・指導・助成
- ふれあい昼食会への助成
- 在宅重度障がい者研修の実施
- ななかまど共同作業所など自立と社会参加の場づくりと組織化
- 老人の健康づくりと、生きがいづくりの推進

2、在宅福祉サービスの拡充

- ぬくもり除雪サービス事業(70歳以上の方、重度身体障がい者の方を対象に間口除雪、屋根窓等緊急除雪)
- 居宅介護支援事業(社協ケアプラン相談センター)：介護保険によるケアプ

3、地域福祉の拠点づくり

- ボランティアセンターを中心に、ボランティア活動の拠点としての整備
- ボランティアの拡充と育成のため、各種研修会、講座、スクール等の開催
- ボランティア連絡協議会の充実強化及び協力：ボランティアの中核として、活発な運営を目指します。
- 「男のふれあい料理教室」の開催
- 福祉の店「ななかまど」の開設

4、その他の主な事業

- 東日本大震災義援金の募集
- 赤い羽根協同募金運動、歳末助け合い運動への協力
- よろず相談所の開設

ご相談ください

低所得者世帯等の自立に向けての資金相談は

生活福祉資金

- ◎総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、緊急小口資金の貸付
- ◎貸付限度額：それぞれの区分により異なります。
- ◎貸付利率：連帯保証人がいる場合無利子、いない場合年1.5%など申請状況によります。
- ※他の貸付制度が優先になります。

低所得者世帯の応急生活費の相談は

たすけあい金庫

- ◎貸付限度額：1世帯3万円以内
- ◎返済期間：5ヶ月以内
- ◎貸付利率：無利子
- ※世帯主名での貸付になります。

詳細については社協事務局へ…

からだに優しい料理教室

6月17日に開催しました料理教室。今回は男性が調理することを中心に考えたメニュー(冷やしサラダうどん、鶏のから揚げ、焼きなすじゃこポン)としました。この料理教室も通算19回目となりましたが、改めて身近にある食材で健康的な献立をと市立病院の藤澤栄養士さんによる考案、指導をお願いし、ひまわり会ボランティアの方々の協力をいただきました。



福祉の店「ななかまど」好評開店中

(月1回)
今年度も福祉の店「ななかまど」を毎月1回開店しています。日ごろ市民の皆様からお寄せいただいた物品(家具など)を格安で販売しています。今後も次のとおり開店しますので、ご来店お待ちしております。

【今後の開店予定日】8月25日(木)、9月29日(木)、10月27日(木)

【開店時間】午前10時～正午

【ところ】旧弥生保育所(弥生桃山町)

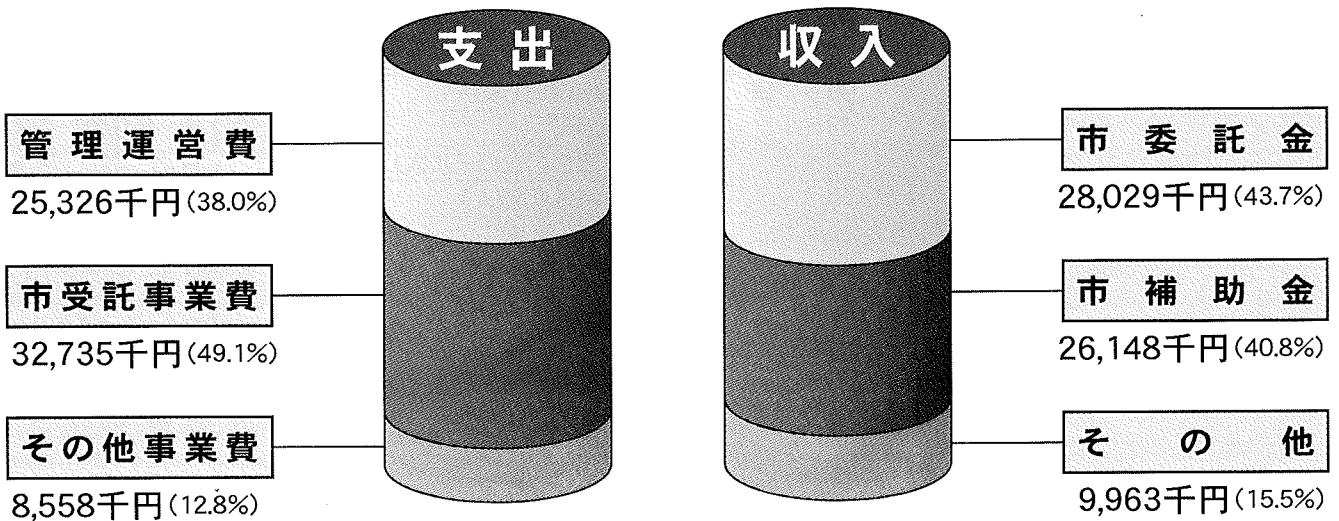
【問合先】社会福祉協議会電話：2-3151(旧弥生保育所に電話はありません)

※お寄せいただく物品は随時受けたまわっています。



平成23年度 社協一般会計予算

66,619千円



平成23年度社協一般会計収入支出予算

(単位:千円)

支 出		収 入	
科 目	予算額	科 目	予算額
法人運営事業	26,327	会費収入	1,100
ぬくもり除雪サービス事業	12,240	寄付金収入	1,050
共同募金配分事業	1,649	経常経費補助金収入	26,516
ボランティアセンター事業	1,665	受託金収入	28,029
老人福祉センター運営事業	15,262	事業収入	1,051
障害者共同作業所運営事業	5,233	貸付事業収入	3,000
助け合い金庫事業	3,000	共同募金配分金収入	1,649
地域活動事業ほか	1,243	負担金収入	30
		雑収入	550
		受取利息配当金収入	53
		経理区分間繰入金収入	1,082
		積立預金取崩収入	30
支出合計	66,619	収入合計	64,140

平成23年度公益事業会計収入支出予算

支 出		収 入	
科 目	予算額	科 目	予算額
居宅介護支援事業	5,660	介護保険収入	4,750
		雑収入ほか	958
支出合計	5,660	収入合計	5,708

平成23年度共同募金会計収入支出予算

支 出		収 入	
会 計	予算額	会 計	予算額
寄付金・配分金支出	7,299	寄付金・配分金収入	7,299
事務費支出	438	事務費収入	438
計	7,737	計	7,737

ライオンズクラブ より寄付を いただきました

5月28日(土)ライオンズクラブのチャリティーゴルフ大会が開催され、今年もその大会でのチャリティー募金41,060円を寄付していただきました。

この寄付金は、心身障害者通所授産施設「ななかまど共同作業所」のために有効に使用させていただきます。



義援金

区分	件数	金額
三笠市	391	4,298,006
社会福祉協議会	348	4,117,349
合計	739	8,415,355

義援物資

品名	数量	個数
カップ麺	30箱(10個入)	300個
粉ミルク	25缶	25缶
トイレットペーパー	23包(12ロール入)	276個
箱ティッシュ	44包(5箱入)	220箱
生理用品	8包(20個)	160個
紙オムツ	31包(10個入)	310個
ノート	4包(10冊入)	40冊
鉛筆	117ダース	1404本
消しゴム	2箱(40個入)	80個
絵本	70冊	70冊
その他	タオル他	5点

東日本大震災 義援金・物資について

皆様の善意に感謝いたします

3月11日に発生した東日本大震災が起きてから、もう5か月が過ぎております。この期間、三笠市と社会福祉協議会が協働で義援金・物資を募集し、市民の皆様のご協力を頂き、本日まで8,415,355円が集まりました。(8月3日現在)

これも一人一人では限られたことしか出来ないことが、市民の皆様のご熱意や、善意でこのような大きな力になることが出来ました。このことは三笠市の地域力が示され、私どもも誇りを持って良いことと思います。

義援金・物資は日赤本部を通して被災地へお送りし、被災地の皆様への早急な復興をお祈りするとともに、市民の皆様へ深く感謝申し上げます。

なお、この義援金は引続き9月30日まで受け付けています。

社協の

在宅福祉サービス

市委託事業

をご利用ください

※いずれのサービスも、利用者負担がありますので、くわしくはお問い合わせください。

めくもい除雪サービス

～お年寄りが除雪をしないで暮らせるまちづくりを目指して～

70歳以上の高齢者のみの世帯、重度身体障害者(身体障害者手帳1級または2級の方のみの世帯)世帯を対象に、「間口除雪」「屋根・窓等緊急除雪」を行っています。

◆間口除雪 / 生活路確保のため、除雪車が出動した日に玄関から公道まで(おおむね幅1メートル、長さ10メートル程度)を除雪します。

◆屋根・窓緊急除雪 / 落雪や積雪で家屋が倒壊するおそれのある屋根や窓まわり等の除雪をします。



【申込・問合せ】ふれあい健康センター ☎③2010 または 社会福祉協議会 ☎②3151

社協ケアプラン相談センター

をご利用ください

1. 相談内容～こんな事をしています。

- (1) ケアプラン作成～利用者の皆様一人ひとりに合ったケアプランをご本人、ご家族と一緒に考えホームヘルパー(訪問介護)、デイサービス(通所介護)、デイケア(通所リハビリ)、訪問リハビリ、訪問看護、福祉用具の購入・レンタル、住宅改修等の事業者を紹介します。
- (2) 各種書類申請代行～実際にご契約されて介護保険サービスを利用されている方の介護保険に関する書類等をご本人・ご家族に代わって市役所に提出します。
- (3) 各種相談・その他～介護保険サービス提供後も月1回以上利用者のお宅を訪問し、様々な相談等をお聞きし必要に応じてサービスの変更を致します。また、ご連絡を頂ければ、その都度、お宅に伺います。介護保険のサービスで対応できない時は、他の機関を紹介します。

2. 利用の対象になる方

介護保険で要介護認定を受けている方。(要介護認定を受けていれば生活保護の方も利用できます。)

3. 利用できない方

- (1) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・病院等に入院(入所)されており退院(退所)の予定が決まっていない方。(施設・病院の担当のケアマネージャー・ケースワーカーにご相談下さい。)
- (2) 要介護度が要支援1・2と判定を受けている方(ふれあい健康センター内の地域包括支援センター(☎③2010)にご相談下さい)

4. 相談受付

8:30～17:00(土・日・祝日、12月30日～1月4日を除く)

三笠市社会福祉協議会 三笠市若松町10番地(市役所分庁舎内)

社協ケアプラン相談センター ☎②3151 FAX③1515

社会福祉基金寄付者一覧 (敬称略)

《 H22.4.1 ～ H23.3.31 》

月 大 渡 猪 小 後 岡 江 平 三 本 鈴 福 永 谷 小 浅 青 鎌 松

澤 窪 辺 狩 見 条 口 瀬 浦 川 木 士 田 口 林 野 木 田 倉

ほ
か
匿
名
2
人

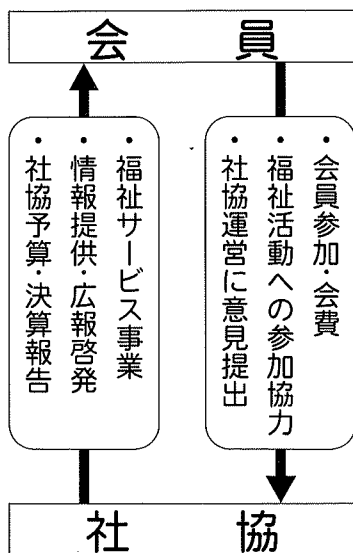
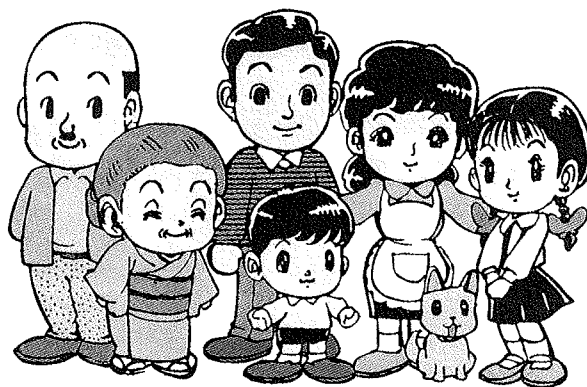
三 美 慎 孝 光 和 幸 好 良 毛 秀 た 幸 笑 銀 ヤ
保 一 づ 工

郎 裕 登 子 郎 勉 行 子 枝 雄 春 児 毛 治 子 雄 子 一 子 由

社協と住民会員のつながり

三笠市に在住する全市民 (世帯)で運営する社協です。

住民主体の地域福祉に取り組んでおり、市民と共に歩む社会福祉協議会として皆さんから支援して頂いております。



社協と会員

会員の拡大と 自主財源の確保に ご理解とご協力を！



社協のお財布

- **一般会員**
(市内居住の一般世帯で入会者) 毎年各支部を通して納めていただいております。
- **特別会員**
(社協活動にご賛同して頂ける会社・団体・商業者・個人)
年会費 千円以上

社協機関紙編集委員

三笠市は開庁130年記念を迎え、道内でも有数の歴史を誇って来ました。

しかし今その歴史の発端でもある石炭産業も途絶え、人口減少・少子高齢化が進行しておりますが、市の自立策が効果を奏し、財政的自立を進めつつ、今や効率的なまちづくりを歩み始めたと思えます。

小・中学校の合併で今春の運動会など非常にぎやかで活気ある光景に往時を思い出した人も少なくはなかったと思います。

これからも住んで良かったと思うまちづくりのため、社協として微力ではありますが共に協力しあい、その姿を発信してまいりたいと願っております。

また、東日本大震災への義援金に対して感謝申し上げ、被災された皆様の一日も早い復興をお祈りし、挨拶の言葉といたします。

- 委員長 田奈田 京子 委員 高橋 賢春
- 副委員長 吉倉 法道 委員 山名 義晴
- 委員 門田 隆一 委員 吉田 正幸

社協だよりみかさ

発行 三笠市社会福祉協議会
機関紙編集委員会

事務局 三笠市若松町10番地
(市役所分庁舎内)

☎2-3151

印刷 中央印刷株式会社